

第20回アジア競技大会選手村後利用事業における 愛知県との「建築物木材利用促進協定」の締結について

第20回アジア競技大会選手村後利用事業(以下、「本事業」)において、中部電力株式会社(代表取締役社長:林 欣吾、所在地:名古屋市東区、以下、「中部電力」)を代表法人とし、当社も構成メンバーとして参画する事業者グループ(以下、「本事業者グループ」)が、9月9日付で愛知県(知事:大村 秀章)と建築物木材利用促進協定(以下、「本協定」)を締結しましたので、お知らせします。

本事業者グループは、愛知県が募集している「カーボンニュートラルの実現に向けた事業・企画アイデア」に対し、第20回アジア競技大会選手村後利用事業において、愛知県産木材を活用する「街区全体で統一的に木造・木質化を図るまちづくり『ウェルネス・アソシエーション』+『木のある暮らし』プロジェクト」を企画・応募し、その後、愛知県主催の「第2回あいちカーボンニュートラル戦略会議」において選定されました。

本協定は、本事業者グループが取り組むまちづくりにおいて、まち全体で木をイメージできるようなデザインとすることや、愛知県産木材の使用を促進することで、「都市の木造・木質化」のモデルとして、広く県内の木材利用の拡大に資することを目的とするものであり、愛知県では初めての締結となります。

当社は、このまちづくりにおいて複合商業施設開発を手掛ける予定です。今後も、環境に配慮した事業を推進してまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

